テクノフェア2002開催

技術開発本部では、10月2日(水)～4日(金)にかけてテクノフェア2002を開催いたしました。台風接近の影響で初日の特設パビリオンテントでの展示を取りやめたため、急遽4日まで延長いたしました。

従来から、研究棟での研究開発状況紹介に加えて特設パビリオンテントを設け、テーマに基づく集中展示を行っています。今回は「明日を拓く新技術」をテーマに、17件の研究開発技術の展示と新たに9件のステージ発表を設け、大変好評でした。

3日間合計で昨年を上回る3,500人の来場をいただき、地域各界のオピニオンリーダ等へ幅広い当社技術力の理解促進、大学関係者など各種専門分野の有識者との産学連携の強化、大口のお客さまへ当社技術力の理解・活用促進に大変効果があったと考えています。

多くのお客さまからは、

- 研究内容が大変広範囲にわたっており、かつ深く研究されていることに驚いた。
- 説明が実によく整理されており、また難しい内容を分かり易く説明してもらえた。
- 毎年来る度に新しい内容があって驚くとともに新鮮な情報提供への工夫が感じられる。

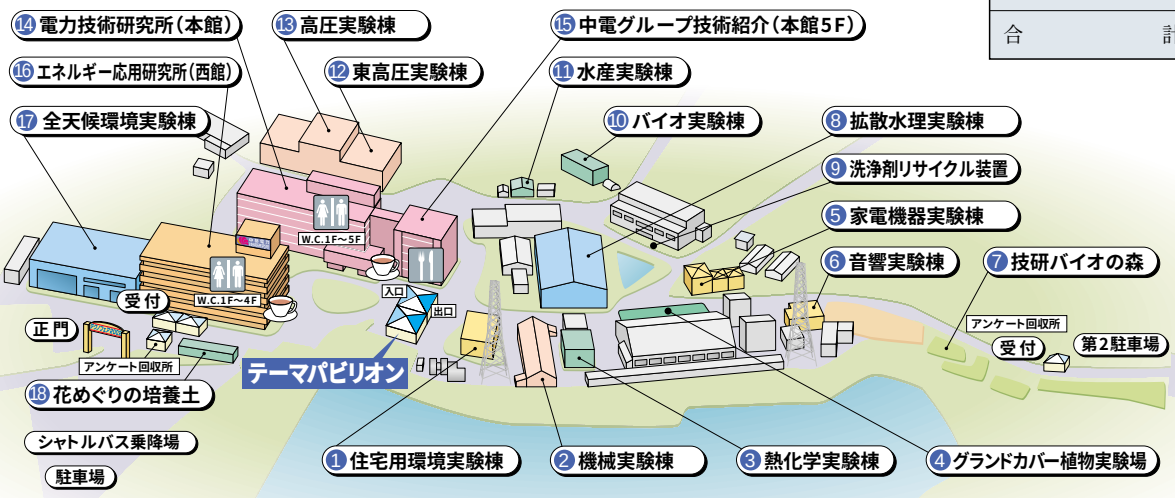
超電導電力貯蔵装置（SMES）1MJ機の説明

などの評価をいただいています。また、本館裏の高圧実験棟では「超電導関連技術」を一同にまとめましたが、SMES 1MJ機の他、2日の磁気冷凍プレス発表の影響も加わり、たいへんな人気スポットとなりました。

今後もより良いフェアとしていくつもりですので、多数のみなさまの来場をお待ちしています。

来場者内訳

行政、地域関係者	520名
大学関係者、学生	820名
一　般　企　業	1,140名
当社社員、関係会社	1,020名
合　　計	3,500名



音響実験棟での音カメラの実演風景

パビリオン平面図